

本書は本製品と XSplit を使用した映像のキャプチャーからライブ配信を行う方法について記載しております。
詳しい操作方法については、XSplit のホームページをご覧ください。

USB HD ビデオキャプチャユニット

活用ガイドー XSplit 編ー

■ 本書をお読みいただく前に

本書をお読みいただく前に、必ず「設定ガイド」に従って機器の接続やアプリのインストールを行ってください。

XSplit Broadcaster プレミアムライセンス (2 か月試用版) について

XSplit Broadcaster は、ライブストリームとレコーディングを可能にするビデオミキシングアプリケーションです。

本製品でご利用いただける XSplit Broadcaster プレミアムライセンス (2 か月試用版) は、Splitmedialabs, Ltd. 社サイトより無料版をダウンロードしていただき、本製品添付のコードでアクティベーションを行ってください。プレミアム版を 2 か月間利用することができます。

XSplit 詳細については、Splitmedialabs, Ltd. 社サイトにて XSplit Broadcaster マニュアルおよび FAQ (英語) をご確認ください。

■ Splitmedialabs, Ltd. 社サイト

URL <https://www.xsplit.com/ja>

必要要件

XSplit Broadcaster では映像を「Twitch」「YouTube」「Facebook」などのストリーミングサービスを使用したり「カスタム サーバー」などを使用してライブ/ストリーミング配信します。
ストリーミング配信には各ストリーミングサービスのアカウントが必要になりますので、あらかじめご用意ください。

■ 主な対応ストリーミングサービス

「Twitch」「Facebook Live」
「YouTube Live」「Mixer」「Ustream」など

※上記に記載していないストリーミングサービスにも対応しています。

動作環境

■ 対応 OS

Windows 10 / 8.1 / 7 SP1 (すべて 64bit 版)

■ ハードウェア

プロセッサ	[HD 720p レコーディング/ストリーミング] の場合 第 4 世代 Core i5 または同等のもの
	[HD 1080p レコーディング/ストリーミング] の場合 第 4 世代 Core i7 または同等のもの
メモリ	8GB
グラフィックカード	DirectX 10.1 以上対応の GeForce または Radeon クラスのグラフィックスカード
ハードディスク空き容量	250MB 以上

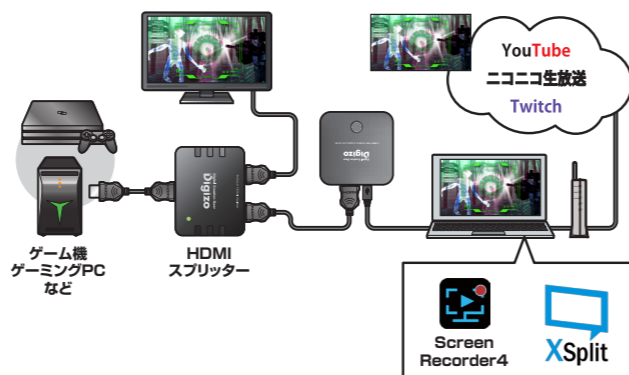
■ その他

ブロードバンドインターネット接続環境

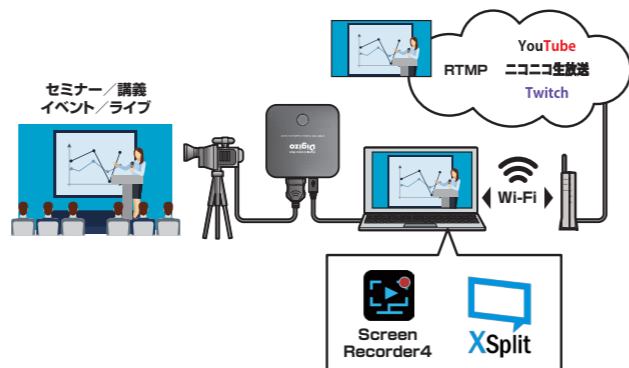
注意 ソフトウェアサポートは Splitmedialabs, Ltd. 社で対応 (英語) となります。あらかじめご了承ください。

接続例

【ゲーム配信】



【オンライン公開セミナー】



XSplit のインストール

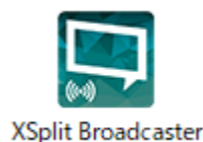
1. ストリーミングに使用するストリーミングサービスのアカウントを取得してください。
2. XSplit のウェブサイトからインストーラーをダウンロードします。
3. ダウンロードしたインストーラーを起動して、インストールを開始してください。
※ インストールにはインターネットに接続したパソコンが必要です。

機器の接続

別紙「設定ガイド」の「PC に録画する【PC モード】」を参照して、パソコンと本製品および配信する映像を再生する機器を接続してください。

XSplit を起動する

1. デスクトップまたはスタートメニューに追加された XSplit を起動します。
ログイン画面が表示されたら、インストール時に設定したアカウントでログインしてください。
2. 初めて起動する場合、ライセンス同意画面が表示されます。ライセンス内容をお読みいただき「続行」をクリックしてください。
3. プレゼンテーション画面が表示されます。



プレゼンテーション画面

XSplit Broadcaster ではプレゼンテーション画面で、配信映像の製作および管理を行います。

① メインツールバー

ファイル	プレゼンテーションやシーンの作成/保存などを行います。
ブロードキャスト	ストリーミングの設定を行います。
レコード	映像の録画を行います。
プレアウト	プレビューエディター、プロジェクターにアクセスし、選択した解像度に合わせて XSplit Broadcaster のウィンドウを拡大縮小します。
拡張	シーンスイッチャーなど様々な拡張機能の追加/選択をします。
ツール	システム設定の表示や、ストリームの共有、プレビューエディター、エクスペリメンタルビデオエディターなどにアクセスします。
ヘルプ	アカウント設定、言語設定、アップデートの確認などを行います。

② 解像度と FPS エリア

ブロードキャスト解像度とフレームレートを設定できます。

③ ビューポートエリア

※ 初期画面では各操作チュートリアルへのショートカットが表示されています。

「⑥ ソースの追加」から配信する映像等を設定すると、このエリアにプレビューが表示されます。表示されているプレビューはドラッグして位置やサイズを変更することができます。配信時には、このエリアに表示された状態がライブ映像になります。

④ 音量設定

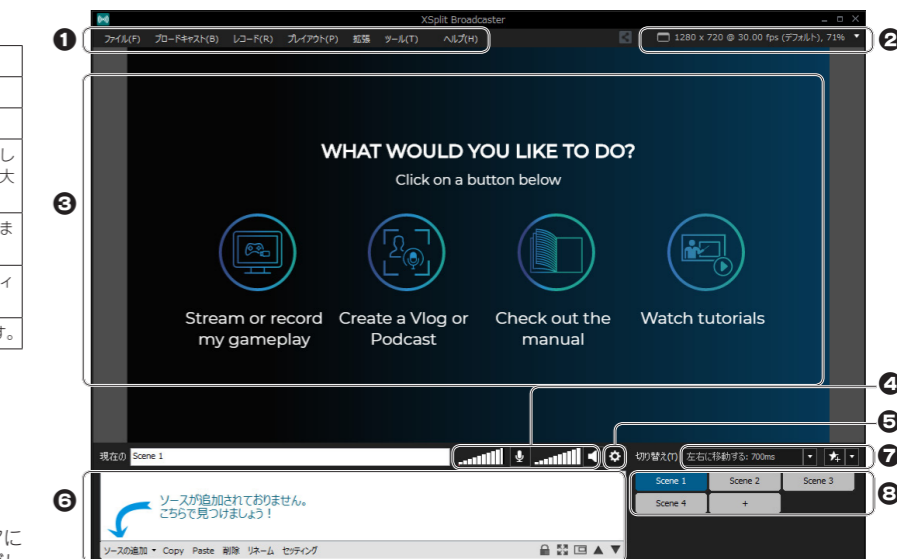
マイクおよびシステムサウンドの音量を調節します。

⑤ システム設定

アイコンをクリックするとセッティング画面が表示され、アプリケーションの基本的な動作設定を行うことができます。

⑥ ソースの追加 (ソースリスト)

配信する映像や画像の追加、削除、重ね順の入れ替えなどを行います。表示中のソースを選択して、詳細な表示設定も行うことができます。



⑦ トランジション

シーンを切替える際のエフェクト (スライドやフェードアウトなど) や切替速度などを設定します。

⑧ シーンコントロールパネル

1 画面内にまとめたソースを「シーン」として管理します。表示させたいシーンを選択し画面 (場面) 切替を行うことができます。

配信映像の準備

Step 1 配信映像のプレビューを表示する (ソースの追加)

1. 本製品に接続されている映像出力機器で映像を再生して、本製品の録画ボタンが緑色で点灯していることを確認してください。
2. プレゼンテーション画面左下の「ソースの追加」から「デバイス」⇒「ビデオ」の順にクリックして「HDMI Video Capture」(本製品) を選択します。



3. 画面にプレビューが表示されます。



4. プレビュー映像の位置やサイズを調整します。
プレビュー映像をドラッグして位置を変更したり、映像の四隅をドラッグしてサイズを拡大/縮小することができます。

Step 2 Web カメラなどの PIP 映像を追加する

1. 「Step 1」のソースの追加を繰り返し、出力する映像を追加することができます。例えば、Web カメラが利用できる環境の場合、プレゼンテーション画面左下の「ソースの追加」⇒「デバイス」⇒「ビデオ」の順にクリックして、Web カメラを選択すると、画面に Web カメラのプレビューが追加されます。
2. プレビュー映像の位置やサイズを調整します。
プレビュー映像をドラッグして位置を変更したり、映像の四隅をドラッグしてサイズを拡大/縮小することができます。



Step 3 オーバーレイ画像やテキストを追加する

「Step 1」のソースの追加では、映像の他に静止画像やテキストの挿入もできます。追加された画像は、ビューポートエリアで位置やサイズを変更することができます。



裏面に続く →

Step4 追加したソースの設定を変更する

ソースリストで設定を変更したいソースを選択して、[セッティング] をクリックすると設定画面が表示されます。

HINT ソースリスト上で右クリックして、設定画面を表示することもできます。

Step5 マイクの音声を追加する

1. システム設定画面を表示します。
2. [オーディオ] タブを表示します。
3. [マイク] から音声入力に使用するマイクを選択します。



Step6 シーン/トランジションの設定

複数のソースを任意に切り替えてストリーミングを行うことができます。ソースリストに表示されている内容を一つのシーンとして取り扱うことができ、シーンごとに異なるソースを表示することができます。初期設定では、Scene 1 が選択されています。

■ 例：シーン 2 にソースを追加する場合

1. 画面右下のパネルから [Scene 2] をクリックします。
2. 「Step1」と同様にソースの追加からソースを選択します。

■ シーンを切り替える/トランジションの設定

ゾーンパネルから表示したい [Scene x] (x は数字) をクリックすることで、表示が切り替わります。

シーンを切り替え時に使用する、トランジションを追加することも可能です。シーンボタンの上にあるトランジションのリストから、設定したいトランジションを選択してください。



映像を録画する

ビューポートエリアのプレビュー映像を、動画ファイルとしてパソコンに録画することができます。

Step1 録画を開始する

[レコード] メニューから、[ローカルレコーディング] 選択します。

設定画面が表示されます。[OK] をクリックすると録画を開始します。

配信中は [レコード] の文字が赤色に変わり、画面上部に赤色の文字で録画状況が表示されます。



ストリーミングの準備～配信

XSplit Broadcaster を使用して映像を配信するには、ストリーミングサービスのアカウント (認証) が必要です。

XSplit Broadcaster は、「Twitch」「Facebook Live」「YouTube Live」「Mixer」「Ustream」などのストリーミングサイトをサポートしており、これらのサービスについては、チャンネル設定ウィザードで簡単に認証を行うことができます。

Step1 ストリーミングサービスの選択～設定 (例 YouTube の場合)

1. 画面上部の [ブロードキャスト] メニューから、[新しい出力を設定する] を選択して、配信に使用するサービスを選択します。ここでは [YouTube] を選択します。



2. YouTube を選択した場合 [YouTube ライブプロパティ] が表示されます。[チャンネル] のリンクをクリックして認証を開始します。



※ 選択したストリーミングサービスによって、表示される画面は異なります。

3. ログイン画面が表示されたら、あらかじめ取得したストリーミングサービスのアカウントでログインして、画面の指示に従って認証を進めます。



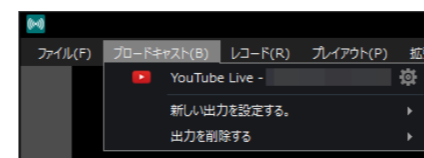
例えば YouTube の場合は、Google アカウントでサインインします。

途中「XSplit が Google アカウントへのアクセスをリクエストしています」と表示されたら、[許可] をクリックして認証を進めてください。

4. 認証が完了すると、「YouTube ライブプロパティ」が表示されます。[チャンネル] にアカウント情報が入力されます。[OK] をクリックして画面を閉じます。



5. 設定が完了したら、[ブロードキャスト] にサービスが追加されます。



■ ブロードキャストメニューに表示されていないストリーミングサービスを利用するには？

ブロードキャストの [Custom RTMP] を使用します。Custom RTMP を使用するには、あらかじめ配信サイトの配信 URL とストリーミングキーが必要になります。

1. [新しい出力を設定する] ⇒ [Custom RTMP] の順にクリックします。
2. [Name] にサービス名などを入力します。
3. 利用するストリーミングサイトへの配信用の URL (rtmp:// ~) を「RTMP URL」に入力します。
4. ストリーミングサービスのストリームキーを「Stream Name」に入力します。
5. 入力完了したら [OK] をクリックしてください。

Step2 ストリーミング配信を開始する

[ブロードキャスト] メニューから、配信に使用するサービスを選択すると、配信を開始します。

配信中は [ブロードキャスト] の文字が赤色に変わり、画面上部に赤色の文字で配信状況が表示されます。



Step3 ストリーミング配信の停止

[ブロードキャスト] メニューから、配信中のサービス (赤色の文字) をクリックすると、配信を停止します。

配信映像を録画するには

ストリーミング配信中の映像をデータで保存することができます。

[ブロードキャスト] メニューから、サービス名の右側にあるボタンをクリックして設定画面を表示します。

[ローカルドライブにレコーディングを自動で保存] にチェックを付けます。

